

それぞれの時代の歩みを希少な原典で再現。  
近代日本の造形文化とその固有性を浮彫にする  
画期的シリーズ。

ゆまに  
書房 YUMANI  
SHOBU

叢書  
近代日本のデザイン

監修 森 仁史

松戸市教育委員会学芸員

解説 50音順

内田青蔵 埼玉大学教授

梅宮弘光 神戸大学准教授

菊地 潤 建築家

木田拓也 東京国立近代美術館工芸館学芸員

服部文孝 瀬戸市美術館学芸員

花井久穂 茨城県陶芸美術館学芸員

藤井素彦 高岡市美術館学芸員

藤谷陽悦 日本大学教授

本橋浩介 佐倉市立美術館学芸員

森 仁史 松戸市教育委員会学芸員

大正篇

全19巻

日本の近代文化が西欧の影響のもとに展開してきたことは紛れもない事実である。しかし、それが常により進んだものをそのまま受容してきたという単純な構図だったのではなく、日本の側にもともとあった特性や個性によって様々に選択され、個々に受容の様相を異にしてきたことが明らかにされてきている。つまり、最近の研究成果は近代日本の造形文化がどのように固有なものだったかをはっきりさせてきているのだ。

とくにデザインの領域では、いわゆるモダンデザインこそが真理なのだという戦後生まれの固定観念によって、日本のデザインの歴史を真摯に振り返ることが阻害



されてきた。あるいは、そうした遺産にあえて目をふさいできた。しかし、グローバルイゼイションの動きは日本の個性をデザインにどう表現するかという問いかけとなつて再び自らに問い直され、日本デザインの出自に眼を向ける必要が増えてきている。

そこでこの度、日本近代デザインの歩みをそれぞれの時代の原典によって再現しようと考えた。つまり、かつての先人がなしとげた成果と意図をそっくりそのまま現代

の読者に届けようというのである。この精査が可能となったのもまた、最近のデザイン史研究の成果であり、本シリーズはこれら最新の研究動向に基づいて取捨選択されている。多くの人々の真剣な学習や不断の追及によって成し遂げられた仕事はそのままでも今も現代人の感覚を撃つことができるかもしれない。しかし、我々にとって再び手軽に手にとることができるようになったこれらの成果から、今日の課題に応えるものをつかみだすことこそ、先人の志を受け継ぐもつとも正当なまた価値ある仕事のように思える。

願わくばより多くの読者にこれらの資産が届けられ、多くの稔りを得んことを。



## 本書の特色



### ◆ 造形文化の深層に迫る

明治以来の真剣な取り組みの中から、日本デザインのオリジナルな発想や源泉を読み取ることができる。

### ◆ 近代日本のデザインを総括

戦後はモダンデザイン偏重だったため、殆ど省みられなかった近代日本のデザインを総括的に見渡すことができる。

### ◆ 高い資料価値

日本デザインの個性が求められている現在の風潮にとって、格好の参考資料となる。



第一回・全8巻

二〇〇八年十月刊行予定

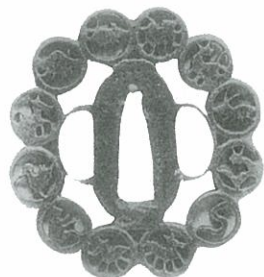
第10巻

鹿島英二〔編〕

図案新集 第一帙・第二帙

大正二年〜四年頃 図案新集社

アメリカ留学体験をもつ鹿島が編集執筆し、明治末から装幀、木工、陶磁器など商業的に成り立ち始めた分野を網羅する。国内で出版された図案集のうちではもつとも総合的なプレート集。



第11巻

鹿島英二〔編〕

図案新集 第三帙・第四帙 付録 図案彙報

大正四年〜六年頃 図案新集社

第12巻

鹿島英二〔編〕

図案新集 第五帙・第六帙 付録 図案彙報

大正六年〜八年頃 図案新集社

第13巻

安田祿造〔著〕

新式日本図案の応用

大正二年 同文館

安田の新式とは伝統的意匠の脱却であり、図案革新によって明治末の輸出低迷の打開を図ろうとしている。そのため本書の前半では具体的に図案の作成理論から手法、用具を詳述し、後半で多様な業種向けに具体例を挙げていく。

第14巻

安田祿造〔著〕

本邦工芸の現在及将来

大正六年 広文堂書店

後の東京高等工芸学校校長安田が、日本のデザイン活動やデザイン指針について『時事新報』に連載した文章をまとめたもの。その後のデザイン教育やデザインの定義を決定付けた。

第15巻

芝浦工芸時報 学芸特輯号

東京高等工芸学校 昭和三年十二月

東京高等工芸学校の学内機関誌であるが、この特集号は教員の論文、学生のレポートから構成されたもので、創設当時の熱気溢れる活況が伝わってくる。

創立拾年記念写真帖

東京高等工芸学校 昭和六年

日本で最初のデザイン専修学校の教育活動、学校行事、施設などを記録した写真集。わけでも教室内の実習風景は当時のデザイナーナー養成の実態をよく伝え興味深い。

畑 正吉〔講述〕

図案

私家版 昭和八年

立体彫刻（今日で言うクレイモデル）を自ら創案し、工芸彫刻部教授であった畑による教科書。紙に描く図案から立体デザインに及び、変貌しつつあった図案教育を反映している。



第16巻

渡辺素舟〔編〕

図案工芸年鑑 大正十五年度

大正十五年 図案芸術社

一九二〇年代に活況を呈していた美術工芸からポスター、オブジェを含む広汎な範囲を対象とした貴重な作品図版集。残念ながらこの年度しか発行されていない。

第17巻

塩田力蔵〔著〕

近代の陶磁器と窯業

昭和四年 大阪屋号書店

明治から大正、すなわちワグネルから板谷波山、富本憲吉、浜田庄司までを叙述する殆ど唯一の通史。この間一貫して陶磁生産に関わった著者によって、明治初期の美術振興から美術工芸に至る展開が作品とともに精緻に叙述される。

鈴木達三〔編〕

瀬戸図案集

非売品 大正七年 愛知県瀬戸図案研究会

瀬戸窯業学校在職であった植野儀三郎、日野厚を中心作成された陶磁器デザイン集。伝統意匠から抜け出すとする新しい息吹が伝わってくる。



第18巻……………解説・森仁史

木曾恕一〔著〕

### 家具の設計及製作

大正十一年 博文館

近代的な家具の設計とその具体的製造法の総合的な解説書。とくに構造、装飾、取付けなどについて詳細に記述した最初の図書である。一般家庭及び個人商店で使われる殆どの木製家具を網羅している。

第19巻……………解説・内田青蔵

西村伊作〔著〕

### 装飾の遠慮

大正十一年 文化生活研究会

西村は文化学院創設と同時に建築設計に手腕を発揮した。それは彼の主張する「芸術生活」の実践であり、これに共鳴する人々の理想の実現でもあった。本書はこの分野についての彼のもっとも中心的な著述である。

第20巻……………解説・内田青蔵

生活改善同盟会〔編〕

### 住宅家具の改善

大正十三年

平井八重〔編〕

### 生活改善の栞

昭和三年（改訂版）生活改善同盟会

### 新しい台所と台所道具

昭和三年 生活改善同盟会

生活改善同盟会は文部省が推進する社会教育活動の一環として展開された。日本人の生活様式が変化し始めていたことと、関東大震災後の復興とがこの事業を日本全国に浸透させることになった。この三冊は同会が一般向けに刊行した手引き書。

第21巻……………解説・藤谷陽悦

高梨由太郎〔著〕

### 文化村の簡易住宅

大正十一年（三版）洪洋社

高橋仁〔編〕

### 文化村住宅設計図説

大正十一年（五版）鈴木書店

建築学会の呼びかけに答えて工務店や建築家が提案した実験的住宅が平和博覧会で建設され、公開された。ここには生活改善の指

針に基づいた提案が盛り込まれ、後の郊外住宅の手法となった。

第22巻……………解説・藤谷陽悦

時事新報社〔編〕

### 新しい東京と建築の話

大正十三年（再版）時事新報社

震災復興後の東京にどのような暮らし方があるべきか、新聞紙上の連載をもとに塚本靖はじめ建築家四十二名（木曾恕一、森谷延雄、村井松庵を含む）の具体的提言と大熊喜邦設計の住宅十三作例、関連法規を収録。

第23巻……………解説・梅宮弘光

中村鎮〔編〕

### 後藤慶二氏遺稿

非売品 大正十四年 後藤芳香

明治末に日本の建築が西欧模倣から脱皮しようとしていた時期に、時代を予言するかのごとく現われたのが後藤であった。早世した後藤の建築論のみならず、洒脱なエッセイ、秀でたグラフィック表現能力が楽しめる。

第24巻……………解説・本橋浩介

森谷延雄〔著〕

### 小さき室内美術

大正十五年 洪洋社

### 木のめ舎家具作品集

昭和二年 装飾研究会

森谷延雄がもっとも精力的に活動を展開した時期の作品集。ヨーロッパ留学時に受けた表現主義の影響から次第に機能主義に接近し始めた軌跡と、森谷らしいロマンチックな造形の魅力が余すところなく提示されている。

第25巻……………解説・菊地潤

分離派建築会〔著〕

### 分離派建築会宣言と作品

大正九年 岩波書店

### 分離派建築会の作品 第二刊

大正十年 岩波書店

### 分離派建築会・関西分離派建築会〔著〕

### 分離派建築会の作品 第三

大正十三年 岩波書店

分離派建築会は日本で最初の建築運動であり、ドイツ表現主義に影響を受けつつ个性的でコンテンポラリーな建築を目指した。転換期の日本で芸術としての造形を懸命に目指した。いまなお新鮮な作品群である。

第26巻……………解説・森仁史

今和次郎〔著〕

### 民俗と建築

昭和二年 磯部甲陽堂

大正中期に今和次郎が民家研究に際して発表した文章（民家採集、美術批評、バラックのルポ）を収録している。今の民衆への愛情に満ちた眼差しが伺える。民衆生活に密着したデザイン論。

第27巻……………解説・森仁史

木曾恕一〔著〕

### 私の工芸生活抄誌

非売品 昭和十七年 木曾先生還暦祝賀実行会

日本の家具デザインのパイオニアであった木曾の還暦を記念して出版された回顧録。工業教員養成所建築科卒業以来の木曾の歩みを振り返っている。常に現場の指導者であった人物の貴重な証言である。

第28巻……………付・解説

### 論文選 大正篇

本論文集には大正期の建築、デザイン、美術工芸の活動や主張を理解するために必要と思われるおもに雑誌に掲載された文章を収録した。時代の息吹や証言として貴重なドキュメントである。

★大正期デザインの動向―模索と志向 松岡壽「本邦図案界の過去と世界的進展の好機」（現代の図案工芸）第四二〇号／黒田鵬心「建築批評の標準」（建築雑誌）第二九三〇号／佐野利器「建築家の覚悟」（建築雑誌）第二九五〇号／他 ★建築をめぐって 伊東忠太「建設と国民」（建築雑誌）第三三三〇号／岡田信一郎「新日本の建築」（建築雑誌）第三三三七号／野田俊彦「建築非芸術論」（建築雑誌）第三四六〇号／他 ★虚偽論争について 山崎静太郎「虚偽建築に就いて中村先生へ」（建築雑誌）第三四七〇号／中村達太郎「再び虚偽建築に就いて」（建築雑誌）第三四九〇号／中村達太郎「虚偽建築なりや否」（建築雑誌）第三四五〇号／他 ★分離派建築会結成前後・分離派建築会批判と反論・創宇社、新興建築ほか 石本喜久治「帝大建築科の現制を論じてそれが根本に及び」（建築世界）第一四卷第一号／中村鎮「建築界革新の気運（其一）」（建築世界）第一四卷第八号／岡村蚊象「創宇社とその第一回展」（建築新潮）第五年第二号／仲田定之助「ワルター・グロピウス推讃」（建築新潮）第六年第一〇号／伊藤清造「建築のプロレタリアズム」（建築新潮）第七年第七号／他

有意義かつ喜ばしい

復刻版の刊行

推薦します

柏木 博

日本の近代デザインの歴史に目が向けられたのは、さほど古いことではない。せいぜい、三〇年ほど前のことだ。当初はどのような文献や資料が、デザイン史に深く関わっているのかを判断することも手探りの状態であった。

今回、復刻される文献は、日本の近代デザイン史上、きわめて重要な位置をしめるものがすでに精査されており、今後のデザイン史研究に大きく貢献するものとなる。誰もが、手軽に文献資料を入手できることは、研究の深化にかかわってくる。多くの、とりわけ若い研究者が、文献資料の探索の手間なく、むしろそれらの新たな解説にこそ力を注ぐことができるからだ。

日本の近代デザインは、デザインという領域からの「近代」の解明にはかならない。近代の近代性とは何かを問うことが、脱近代が語られている現在こそなされるべきだろう。そうした意味においても、この復刻版の刊行は、有意義でありまた喜ばしいことである。

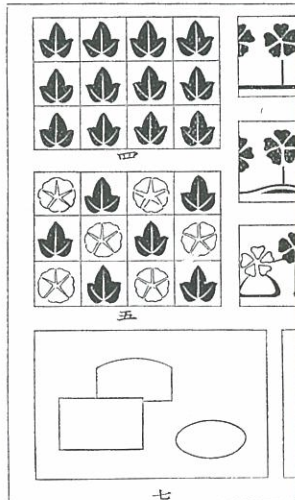
(デザイン評論家)

◆…… 本文見本 ……◆

六 統一

第一編 汎論 第二章 図案の諸原則

統一とは纏りのよいことで、物の各部分が皆共通の性質又は目



葉書面の模様のあるのは畢竟其位置よりも妙味のあるのは畢竟其位置形状に變化が多いためである。此の如く變化は圖案上に大切なれど、極端に走れば支離滅裂結局纏りのつかないものとなるから、茲に統一といふ必要が起つて来る。



●(上)『新式日本図案の応用』より 80%に縮小してあります。

●(右)『図案新集』第1帙より 65%に縮小してあります。

# 叢書 近代日本のデザイン 大正篇 全19巻

## 大正篇 第一回配本・全8巻

2008年10月刊行予定

[監修] 森 仁史 A5判・B5判/上製/クロス装/函入

- 揃定価164,850円(本体157,000円) ISBN978-4-8433-3039-5 C3370
- 第10巻 ● 定価24,150円(本体23,000円) ISBN978-4-8433-3041-8 C3370
- 第11巻 ● 定価24,150円(本体23,000円) ISBN978-4-8433-3042-5 C3370
- 第12巻 ● 定価23,100円(本体22,000円) ISBN978-4-8433-3043-2 C3370
- 第13巻 ● 定価18,900円(本体18,000円) ISBN978-4-8433-3044-9 C3370
- 第14巻 ● 定価15,750円(本体15,000円) ISBN978-4-8433-3045-6 C3370
- 第15巻 ● 定価15,750円(本体15,000円) ISBN978-4-8433-3046-3 C3370
- 第16巻 ● 定価11,550円(本体11,000円) ISBN978-4-8433-3048-7 C3370
- 第17巻 ● 定価31,500円(本体30,000円) ISBN978-4-8433-3049-4 C3370



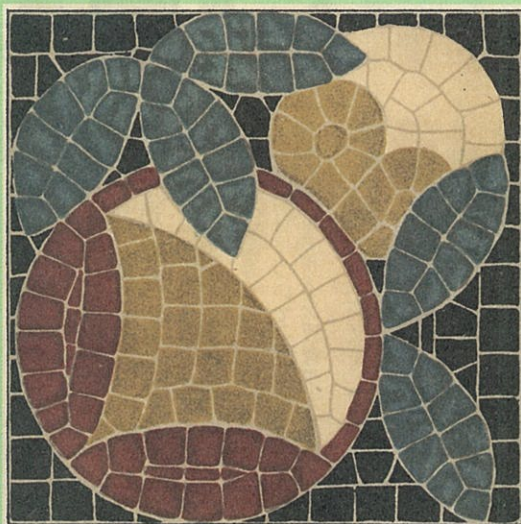
## 大正篇 第二回配本・全11巻

2009年2月刊行予定

[監修] 森 仁史 A5判・B5判/上製/クロス装/函入

- 揃予価173,250円(本体165,000円) ISBN978-4-8433-3040-1 C3370
- 第18巻 ● 予価19,950円(本体19,000円) ISBN978-4-8433-3050-0 C3370
- 第19巻 ● 予価9,450円(本体9,000円) ISBN978-4-8433-3051-7 C3370
- 第20巻 ● 予価19,950円(本体19,000円) ISBN978-4-8433-3052-4 C3370
- 第21巻 ● 予価13,650円(本体13,000円) ISBN978-4-8433-3053-1 C3370
- 第22巻 ● 予価23,100円(本体22,000円) ISBN978-4-8433-3054-8 C3370
- 第23巻 ● 予価11,550円(本体11,000円) ISBN978-4-8433-3055-5 C3370
- 第24巻 ● 予価9,450円(本体9,000円) ISBN978-4-8433-3056-2 C3370
- 第25巻 ● 予価22,050円(本体21,000円) ISBN978-4-8433-3057-9 C3370
- 第26巻 ● 予価12,600円(本体12,000円) ISBN978-4-8433-3058-6 C3370
- 第27巻 ● 予価15,750円(本体15,000円) ISBN978-4-8433-3059-3 C3370
- 第28巻 ● 予価15,750円(本体15,000円) ISBN978-4-8433-3060-9 C3370

大正篇・全19巻 揃予価338,100円(本体322,000円) ISBN978-4-8433-3038-8



## 明治篇 全9巻

好評発売中

[監修] 森 仁史 A5判・B5判/上製/クロス装/函入

- 揃定価168,000円(本体160,000円) ISBN978-4-8433-2669-5 C3370
- 第1巻 ● 定価17,850円(本体17,000円) ISBN978-4-8433-2670-1 C3370
- 第2巻 ● 定価16,800円(本体16,000円) ISBN978-4-8433-2671-8 C3370
- 第3巻 ● 定価17,850円(本体17,000円) ISBN978-4-8433-2672-5 C3370
- 第4巻 ● 定価12,600円(本体12,000円) ISBN978-4-8433-2673-2 C3370
- 第5巻 ● 定価23,100円(本体22,000円) ISBN978-4-8433-2674-9 C3370
- 第6巻 ● 定価15,750円(本体15,000円) ISBN978-4-8433-2675-6 C3370
- 第7巻 ● 定価35,700円(本体34,000円) ISBN978-4-8433-2676-3 C3370
- 第8巻 ● 定価13,650円(本体13,000円) ISBN978-4-8433-2677-0 C3370
- 第9巻 ● 定価14,700円(本体14,000円) ISBN978-4-8433-2678-7 C3370

## 吉祥図案解題 近刊案内

一支那風俗の一研究

全2巻 [著] 野崎誠近 2009年春刊行予定

● 揃予価：本体30,000円+税(分売不可)

天津在住の貿易商であった著者が中国の風俗習慣を知るための資料として、185種におよぶ吉祥図の起源成り立ちを古典籍に拠りながら概説、体系的にまとめた稀覯本。初版は中国土産公司(天津)より昭和3年に刊行。再版(昭和15年)を復刻。



〒101-0047  
東京都千代田区内神田2-7-6  
TEL.03(5296)0491  
FAX.03(5296)0493  
<http://www.yumani.co.jp/>  
e-mail eigyou@yumani.co.jp

おすすめ  
したい方

デザイン、美学、美術史、近代美術デザイン史の研究  
者・研究所、大学図書館、デザイン事務所など。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

ご注文書

叢書・近代日本のデザイン 大正篇 全19巻

第1回・全8巻(分売可)  第2回・全11巻(分売可)

取扱店

お名前  
住所

TEL ( )



08.09/01.7000.H